

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 硝子体液採取における房水ピペットの安全性に関する研究
	●研究の対象 2026年1月から 研究機関の長による実施許可日までの期間に当院で硝子体手術を受けられた方 50名
	●研究の目的 この研究の目的は、硝子体手術の際に「房水ピペット」という器具を用いて硝子体液を採取する場合に、手術中や手術後に合併症やトラブルが起こりうるか、またそれがどのような内容のものでどの程度の頻度で起こるのかを明らかにすることです。 房水ピペットは、房水という眼内液（無色透明な液体）を少量、短時間で採取できる、日本で開発された医療用器具であり、診断の精度向上や患者さんの負担軽減に役立つと考えられます。一方で、硝子体液の採取に使用した場合の経過については、これまで十分に検証されていません。 本研究では、硝子体手術の際に房水ピペットを用いて硝子体液を採取する症例の記録をもとに、手術中および手術後の経過をまとめ、今後より安全で正確な検査や診断につなげることを目指します。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日 から 2031年3月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
●他の機関に提供する場合には、その方法	

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 眼科検査結果（視力、眼圧、前房フレア値など）、診断名、合併症やトラブルの発生状況、手術記録等
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学 眼科 兼子裕規
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望され

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>ない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
《問い合わせ先》	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 眼科学講座 担当者： 荒川あかり TEL： 053-435-2656</p>